

# 生き まのび

# 2025 3.8

(土)  
14:00  
start

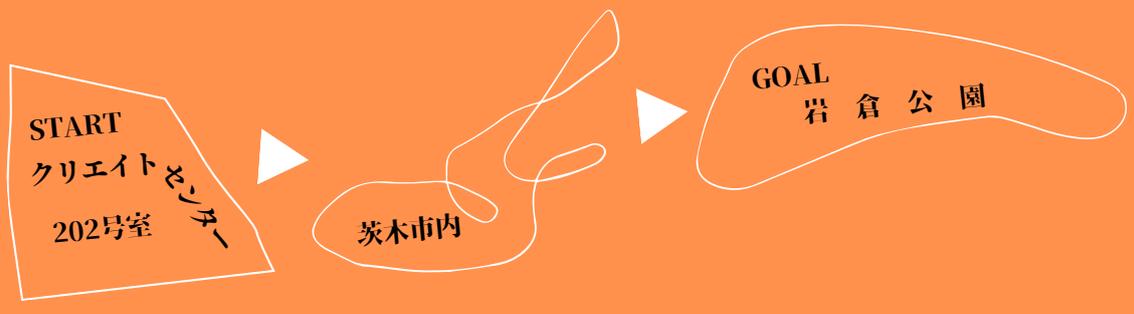
参加無料  
事前申込要



## walkingpractice™ / OIC避難編

# る た

車いすユーザーと居合わせた際に災害に遭遇したら…？  
からだと感覚を動かしながら、  
見慣れた風景の当たり前が変革していくさまを体感してみよう。



講師：檜皮 一彦 (HIWA Kazuhiko)、茨木市 危機管理課職員

# め の

# 歩行

主催：公益財団法人茨木市文化振興財団  
協力：立命館大学 社会共創推進本部、映像学部 望月茂徳教授・ゼミ生有志、茨木市

# 生きのびるための歩行

walkingpractice™/OIC避難編



車いすユーザーである現代美術家の檜皮一彦氏が全国各地で実践しているプロジェクト。車いすで移動する際に生じる様々な制限は、アクセシビリティに関わる権利、災害など有事の事態においては生存にも関わる重大な課題です。

今回茨木市を舞台に、災害に遭遇した設定下で車いすを目的地まで運搬するフィールドワークを行ないます。他者と協力しながら、からだと感覚を動かす中で新たな視点や当事者意識を得ることは、社会課題について考えるきっかけとなることでしょう。

## 学術分野

立命館大学映像学部 望月教授・ゼミ生有志の制作協力の元、インタラクティブメディア(=双方向の新しいメディアの形)を活用した最先端の技術を体感。  
社会に潜在的にあるバリアを可視化させるためのユニークな装置を実装します。

## 行政

茨木市・危機管理課職員より、災害が起きた時の対応方法や岩倉公園の防災機能を  
レクチャー&体験のチャンス!

## 文化芸術

対話・協働のプロセスを通じて社会と関わるアート活動を体感。  
アーティストと一緒にフィールドワークすることで、既成概念にとられない視点を発見。

2024年12月～立命館大学生・一般市民の方と共に、  
レクチャー会や体験型ワークショップを全4回重ねて本企画を実践します。

## 注意事項

- ・参加者は歩きやすい靴と動きやすい服装でご参加ください。
- ・当日撮影した映像は今後、作家によって使用・公開する可能性があります。
- ・参加者はボランティア保険に加入します。※費用は当財団負担。

## 講師

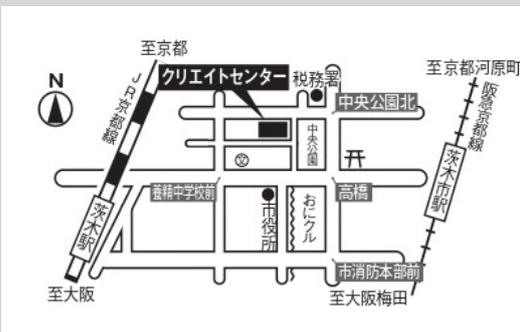
檜皮 一彦 (HIWA Kazuhiko)



大阪生まれ。京都芸術大学大学院芸術研究科芸術専攻修了。  
身体性をテーマとした映像作品やパフォーマンス、自身も使用する車椅子を用いたインスタレーション作品「HIWADROME」シリーズをファーストラインに、ワークショップなどを通してモビリティ及びアクセシビリティをリサーチするプロジェクト「walkingpractice」、ペインティング作品を中心とした「DRAWING EXPERIMENT」、衣服を用いてボディと社会の関係性を考察する「HIWADROModE by Kazuhiko Hiwa」などのラインを展開している。  
最近の展覧会として「MEET YOUR ART FESTIVAL 2023」(寺田倉庫G1ビル / 東京 / 2023)、2024 MICUSRAT - MUSIC LOVES ART- (中之島フェスティバルタワー / 大阪)、「アブソリュート・チェアーズ」(埼玉県立近代美術館 / 埼玉、愛知 / 2024)などがある。

## アクセス

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)集合



QRコードリンク先の申込みフォームか  
お電話でお申込み下さい

お申込み  
1/16(木)～  
受付開始



ご予約・お問合せ：  
(公財)茨木市文化振興財団 文化事業係  
[www.ibabun.jp](http://www.ibabun.jp)  
TEL 072-625-3055(10:00-17:00)

〒567-0888茨木市駅前四丁目6番16号  
※JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木市駅から西へ徒歩12分